

まちの話題

▶ 多久ロータリークラブ 藤川会長（中央左）と中川教育長（中央右）他関係者



多久ロータリークラブ（藤川範史会長）は6月8日、市内小中一貫校3校に10万円相当の図書63冊を寄贈しました。

寄贈は青少年育成事業の一環として毎年行われており、今年で9回目。図書は、各校の司書を中心に子どもたちの要望を聞きながら選書しました。

この日の贈呈式では、藤川会長が「子どもたちの学業のプラスになればと願っています」とあいさつ。

図書の贈呈を受け、中川正博教育長は「読書離れを防ぐ方法として『朝読』運動と『家読』運動に最も注目しています。この本を家庭・地域におけるこれらの運動に活かして広げていきたい」と語り、市校長会長の田原優子西溪校長は「学力を下支えする読書の文化創造を後押しする寄贈に感謝します。新しい図書は、児童・生徒の足が図書室に向かうきっかけとなります。末永く活用します」とお礼を述べました。

▶ 贈呈された小学校用40冊、中学校用23冊の図書



永年にわたる図書寄贈に感謝！

多久ロータリークラブ 図書贈呈式

6月3日、西溪校の田原優子校長と峰栄里が栄養教諭が中川正博教育長に「佐賀県食育賞」（学校部門）受賞の報告を行いました。

この賞は、食育の推進に顕著な功績のあった個人・団体等を知事が表彰することにより、食育推進活動を促進し、食育に対する関心を高めることを目的に平成19年度に設けられたものです。

西溪校では、学校全体が一丸となって積極的に食育指導を行っており、小中一貫校として9年間を見通した食育の実践を行っています。

中学部では、生徒自らが食材の買い出し、調理、後片付けまで「全部自分で作ること」を目標にした「My 弁当の日」や小学3年生以上が自分で作る「おにぎり弁当の日」を設けるなど特色ある取り組みを行っています。

これらの活動は、食べ物の命や食に関わる人への感謝、食の選択力や調理力を育むことをねらいとしています。

峰栄養教諭は「これまでの発達段階に応じた食育の取り組みが評価されたものと思っています。小さいころからの食習慣が大人になっての体に影響を与えますので、栄養バランスの取れた食事など保護者のみなさんの理解と実践も大切です」と語りました。

小中一貫校での食育実践モデルに！

「佐賀県食育賞」を西溪校が受賞！

▶ 報告後の中川教育長・田原校長・峰教諭・峰学校教育課長（左から）



6/7 Sun.

消防団新入団員が初訓練



平成27年度多久市消防団新入団員の宣誓式と訓練が多久消防署南グラウンドで行われ、23人が入団後初めての訓練に参加しました。

宣誓式では南多久分団本部の野中慶誠さんが「関係法令などを遵守し良心に従って消防の義務を遂

行します」と宣誓。真新しい活動服に身を包んだ新入団員は、多久消防署の指導員の号令による基本動作や、消防ホースなどの取り扱いの訓練を受けました。

また、この日は一般団員を対象にポンプ操作方法の訓練も牛津川河川敷（東多久町）で行われました。

6/4 Tue.

今年も見事に咲き誇る“大つつじ”



多久町の専称寺（住職川副春海）の大つつじが今年も見事に桃色に染まりました。

この大つつじは、樹齢約600年で、樹高は約3.5メートル、枝張り5メートル。市の天然記念物に指定されている九州で最も大きいと言われるサツキつつじです。

6月上旬に満開となり見ごろを迎え、今年も多くの人々が美しく咲き誇る桃色に染まる大つつじを堪能しました。

今年は昨年に比べると花芽が多く、例年どおりとのことで、専称寺の川副統子さんは「今年もみなさんのおかげで綺麗に咲いてくれました」と話しました。